

2015 年 4 月



PLATINUM

小売販売に焦点を当てたプラチナ・ジュエリー市場調査

## 「PGI 宝飾小売業動向調査 2015」結果発表

世界主要 4 カ国のプラチナ・ジュエリー小売需要、2015 年は 2.3%の微増見込み

プラチナ・ギルド・インターナショナル(PGI)英国ロンドン本部は、自動車触媒需要(36%)に次いで二番目に大きいプラチナの宝飾需要(35%)について、小売販売の観点から分析した、第 2 回「PGI 宝飾小売業動向調査(PGI Retail Trade Barometer)」の結果を発表しました。

本調査は、プラチナ・ジュエリー市場を牽引する日本、中国、インド、アメリカの主要 4 カ国において、ジュエリー販売に携わる企業、合計 400 社以上 (合計店舗数: 約 40,000 件)を対象に、プラチナ市場の専門家および業界アナリストによって 2015 年 1 月~2 月に実施されました。調査結果では、2014 年のプラチナ・ジュエリー市場のデータと 2015 年の予測を導き出しています。

日本においては、ジュエリー販売に携わる企業約 100 社の 2014 年販売実績および 2015 年の見込みを、第三者機関に委託して調査しました。

### 「PGI 宝飾小売業動向調査 2015」調査結果の概要

#### 【日本市場】

- ⌚ 2014 年小売販売ベースでのプラチナ宝飾需要は重量ベースで前年比 3.3%増。販売金額では前年比 1.7%増と、ジュエリー全体の成長率(0.8%増)を上回った。
- ⌚ 主な増加要因としては、消費税増税前の駆け込み需要と、プラチナと金の価格差が小さい中で消費者のプラチナ回帰が進んだこと、ブライダルカテゴリでのさらなるシェア増、富裕層による高価格帯の売り上げ好調やインバウンド消費など、プラチナ・ジュエリーの需要を押し上げる要因が複合的に現れたこと等が挙げられる。
- ⌚ 重量ベースの伸び率が販売金額の伸び率を上回った主な要因としては、ブライダル以外のプラチナ・ジュエリーのシェア増や高純度プラチナの普及等が上げられる。
- ⌚ 2015 年のプラチナ・ジュエリー市場は、業界の慎重な動きに伴い 1%増とゆるやかな伸びが予測される。

## 【グローバル市場】

### 2014 年

- ┆ プラチナ・ジュエリー市場主要 4 カ国全体としての小売需要は、重量ベースで横ばい。
- ┆ インドは 28%増、アメリカは 8%増。
- ┆ 世界最大のプラチナ消費国である中国は、経済の鈍化に伴い 3%の減少。

### 2015 年

- ┆ プラチナ・ジュエリー市場主要 4 カ国全体としての小売需要は、重量ベースで 2.3%増の予測。
- ┆ 新興国:インドは 23%増、中国は横ばいの見込み。
- ┆ 成熟国:日本は 1%増、アメリカは 7%増の見込み。

### プラチナ・ギルド・インターナショナル CEO ヒュー・ダニエルによるコメント:

世界全体のプラチナ需要のうち 35%を宝飾需要が支えており、今後もプラチナ・ジュエリー市場の継続的な成長が重要だと考えています。2015 年は、中国経済鈍化の影響が懸念されるものの、潜在的な需要にも十分に答えられるよう PGI では既に計画を練っており、さらなる成長が期待されます。また、インドについても非常にエキサイティングな市場と感じており、特にブライダルカテゴリでは新しい取組みが始動したこともあり、明るい見通しを持っています。

### PGI 宝飾小売業動向調査(PGI Retail Trade Barometer):

プラチナ・ジュエリーの主要 4 カ国である日本、中国、インド、アメリカを対象に、小売販売の分析および予測を目的として PGI が第三社機関を通して実施した市場調査。2015 年 1~2 月に各国プラチナ・ジュエリー販売店を対象に実施。今後も毎年実施の予定。